

## 第2節 ごみゼロおおいた作戦の展開

### 第1項 ごみゼロおおいた作戦の推進状況

本県では、身近なごみ問題から地球温暖化問題といった地球規模に至るまでの環境課題の解決に向けて、平成15年度から「ごみゼロおおいた作戦」を展開している。

私たちのふるさと大分は、緑豊かな山野、大地を潤す水清らかな河川、変化に富んだ海岸等美しい自然に恵まれている。これらの美しい自然や快適な環境は、地域の環境を美しく保ち、快適な生活環境を確保しようとする県民及び事業者の日々の取組の積み重ねによって培われるものである。私たちは、この豊かな自然の恵沢が将来の世代においても享受できるよう、美しく快適な環境を守り、次の世代に確実に継承していく責務を有している。

そのためには、私たち一人ひとりが、ふるさとの美しく快適な環境がかけがえのない財産であることを深く認識し、身近な日常生活の中で環境美化の取組を実践するとともに、県、市町村、県民及び事業者が協働して、美観や清潔さを保持し、周辺的生活環境を損なわないよう配慮し、美しく快適な大分県づくりを推し進めていくことが極めて重要である。

ごみゼロおおいた作戦は、すべての県民が一体となって、県民総参加による環境美化や快適な生活環境の保全の運動を展開することにより、美しく快適な県土を守り育て、これを次代に引き継いでいくことを目指している。

ごみゼロおおいた作戦は、学識経験者や環境関係の団体、事業所、環境NPO法人等の役員で構成する「ごみゼロおおいた作戦県民会議（以下「県民会議」という。）」を中心に、県民の自由な発想や活動を引き出し、支えながら進めている。県民会議は、①環境保全に関して広く県民に実践行動を呼びかける、②県民宣言を採択して県内全域に広報するとともに、ごみゼロおおいたキャンペーンを展開する、③県の環境施策全般に対し意見を提出する、といった役割を担っている。

また、県庁内には、各部に跨る環境行政全般を一体的・総合的に推進するため、知事を本部長とする「ごみゼロおおいた作戦実施本部」を設置し、県民会議と緊密に連携しながら各般の環境施策を推進している。

ごみゼロおおいた作戦は、平成17年10月に策定した「大分県長期総合計画安心・活力・発展プラン2005—ともに築こう大分の未来—」において、分野横断的に集中的・重点的に取り組む8つの重点戦略の一つである「豊かな天然自然 磨き輝き



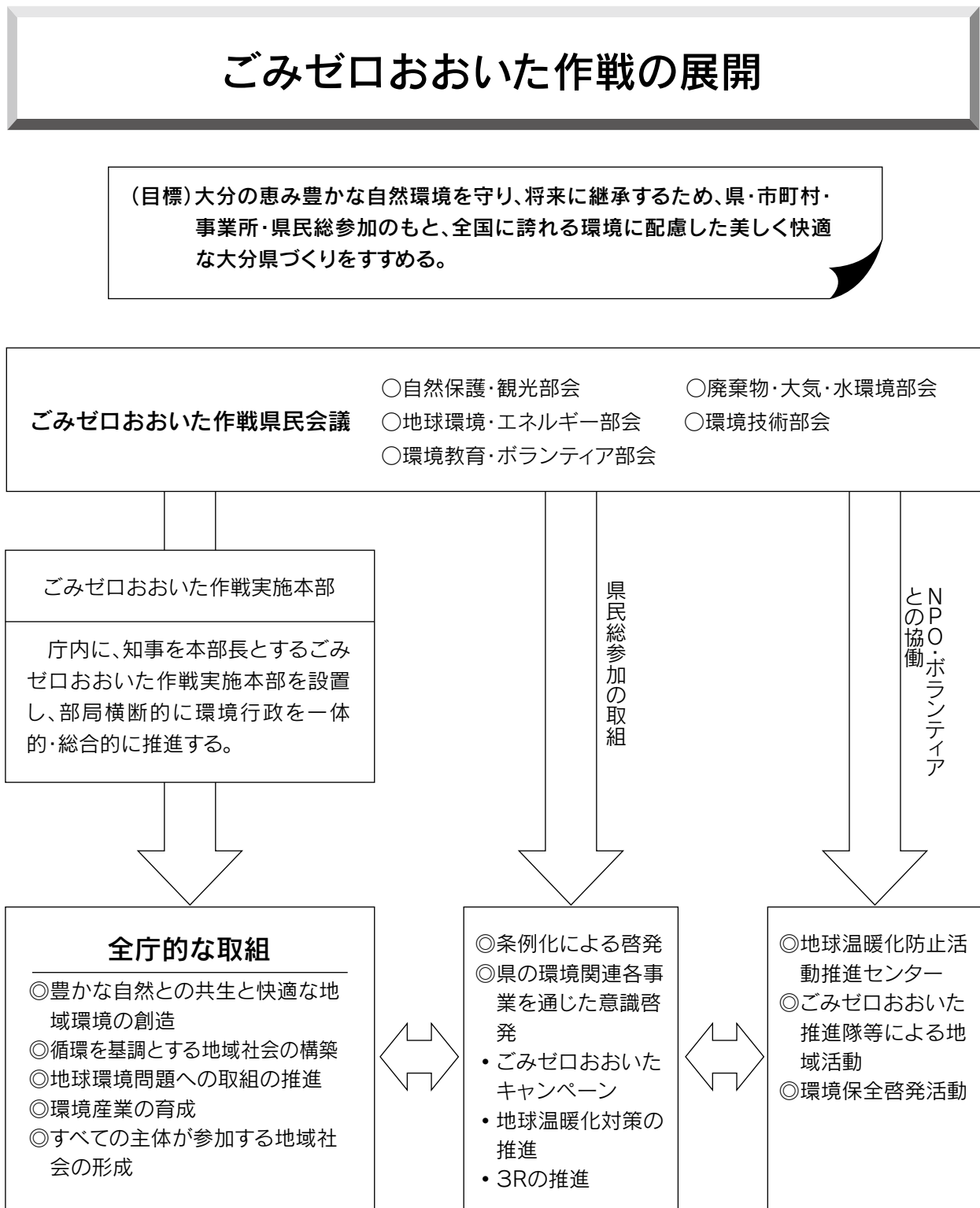
ごみゼロおおいた作戦県民会議



ごみゼロおおいた作戦実施本部

戦略」に位置づけられ、これまで以上に取組を強化していくこととなった。この大分県長期総合計画の環境側面における部門計画として策定された「大分県新環境基本計画—ごみゼロおおいた推進基本プラン—」に基づき、各般の環境施策を着実に推進することによって、『天然自然が輝く 恵み豊かで美しく快適なおおいた』の実現を目指している。また、平成19年9月には、「大分県新環境基本計画」の基本目標に合わせ、「ごみゼロおおいた作戦県民会議」に設置する専門部会8部会を5部会に統合した。（ごみゼロおおいた作戦の概念図は次の図2-1を参照）

図2-1 ごみゼロおおいた作戦の概念図



県民及び事業者の自発的な活動はますます盛んになっている。廃棄物の減量化・リサイクルを促進し、循環型社会を形成するための活動に取り組む「**ごみゼロおおいた推進隊**」は130団体に達し、ごみゼロおおいた作戦の趣旨に賛同し、身近なごみゼロの取組を推進するとともにごみゼロおおいたキャンペーンに積極的に参加する「**ごみゼロ隊**」の登録団体は1,834団体にも及んでいる。また、大分県建設業協会青年部会は、廃棄物の不法投棄を防止するために「**ごみゼロおおいた・不法投棄監視パトロール隊**」を平成17年に結成、ボランティアによる監視活動を実施している。加えて、県の地方機関や市町村、ボランティア等で組織する「ごみゼロおおいた作戦地域連絡会」を開催し連携を深めるなど、地域の特色を反映した様々なごみゼロおおいた作戦が県下各地で実施されている。

## 第2項 今後の施策の方向性

ごみゼロおおいた作戦は、本県の恵み豊かな天然自然を将来の世代にしっかりと引き継いでいこうとする県民の自発的な活動が原点となっていることから、今後も引き続き県下各地で盛んに行われている環境美化等のボランティア活動を支援するとともに、その輪を広げていくために参加型の環境保全活動を実施し、県民総参加の県民運動として推進する。

また、農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生、資源やエネルギーの効率的・循環的な利用の促進に努めるとともに、とりわけ喫緊の課題である地球温暖化対策や3Rの推進にも取り組み、環境に与える負荷を極力抑えた循環型社会づくりを推進する。

さらに、**環境負荷**の少ない製造技術やリサイクル技術の研究開発、地域資源を活用した新エネルギーや省エネルギーの取組を支援し、循環型環境産業を育成する。

## 第3項 主要な施策

大分県長期総合計画の実行に当たり設定された平成21年度の「おおいた挑戦枠」事業のうち、ごみゼロおおいた作戦関連事業として実施される主な施策は表2-3のとおりである。(平成20年度に実施した117の環境関連事業および平成21年度に実施される125の環境関連事業は「第3部ごみゼロおおいた作戦環境関連事業の取組状況」を参照)

表2-3 平成21年度の「おおいた挑戦枠」事業 ごみゼロおおいた作戦関連事業 (単位：千円)

事業名	予算額	事業内容	担当課(室)
おおいた景観創生事業	9,437	名勝耶馬溪の良好な景観を再生するための雑木伐採等に対し助成するとともに、街なみ景観等を地域住民が評価できる体制の構築と機運の醸成を図る。	景観自然室
県産竹材利用促進事業	3,063	県産竹材の新たな需要開拓に繋げるための人材育成や創業支援によって竹材利用を促進し、竹材の整備に繋げる。	工業振興課
小規模集落の水確保推進事業	7,725	小規模集落の飲料水確保に向けた調査・研究を行う。小規模水道等を市町村営の水道事業と統合する事業に対して助成する。	環境保全課
光化学オキシダント等緊急対策事業	27,924	豊後大野地域に大気常時監視測定局を設置する。九州各県と連携し大陸からの越境汚染についての観測調査を行うとともに、最新の大気環境の監視データをホームページに掲載する。	環境保全課
おおいた里海・水環境保全事業	7,017	NPOが行う里海環境学習会の開催経費を助成する。ササビ漁による干潟環境の改善の仕組を解明するため、底質調査を行う。水辺の生物等の生息状況の調査を行い、水質環境基準の指定を行う。	環境保全課
環境にやさしい農業推進事業	10,202	環境負荷の低減と安全・安全で環境と調和のとれた県独自の特色ある農業を推進するため、有機農産物やe-n-aおおいた農産物の生産拡大・流通促進を図るとともに消費者への理解を促進し、消費拡大を図る。	おおいたブランド推進課
低炭素社会づくり県民総参加推進事業	3,436	NPOや地域協議会が実施するCO2削減に向けた新たな仕組みづくりを支援するとともに、事業者などによるカーボン・オフセットの実施・普及を図り、低炭素社会づくりを推進する。	地球環境対策課
省エネルギー等導入促進対策事業	22,134	省エネルギーの啓発セミナーや省エネ診断、省エネ設備導入に対する支援等、中小企業の省エネルギー化を総合的に支援する。	工業振興課

